

レッドミラーージュ

WAVE 1/144スケールプラスチックキット改造
製作・文: 政府開発援助

1. レッドミラーージュについて

A・K・Dの宮殿騎士団ミラーージュ騎士団の旗機、またA・K・Dの力の象徴でもある。トータルで41台製造され、全てのミラーージュマシンの基本となった。7777年まで旗機の座を譲らず、これ程長期にわたって主力であり続けたMHは他に存在しない。3159年、全星団を恐怖に陥れた悪夢のMHとしてその名を知らしめた。わずか15機で全星団を制圧してしまったというから、このMHのパワー、性能は桁違いである。悪夢の代名詞のように使われるが、出撃したのは5000年の間にたったの7回しかないのである。したがって、このMHを見たものはほとんどいないまさに幻のMHであり、“見た時は死ぬ時である”という天照の言葉が事実であったことを示している。星団最強とかいう言葉はこのMHには当てはまらない。“番外”だからである。(WAVE 1/144EDレッドミラーージュ・組立説明図より引用)

2. キットについて

キットの発売は2000年頃で、装甲が半透明であるという当時の設定を再現すべく乳白色の樹脂が使用されているのが特徴です。関節部の大部分に専用ポリパーツが用意され、スムーズなポーズ変更が可能となっています。なお、このキットにランナーを追加或いは差し替えされたバリエーションキットも複数発売されました。

3. 製作と塗装について

今回は数あるレッドミラーージュのバージョンのうちごく初期(単行本3巻位まで)の状態を目標にミキシングビルドを行いました。約12年にわたる製作期間中ほぼ全身に手を入れているので詳細は省きますが、基本的にはWAVEのEDレッドミラーージュから胴体と一部外装を流用して四肢はプラキットのものを使用することで、プラキットの可動水準をほぼ維持しています。また、WAVEのKOGプラキットから後爪を、海洋堂のアクションフィギュアからベイルを流用しました。ベイルの取付機構は単行本8巻のシュペルターを参考に、プラキットのものから変更。武器はキットに付属する透明な光剣の刃をEDキットの柄に取り付けたものと鞘入りの実剣を用意しました。

塗装は発色を均一にする為ほぼ全パーツにクレオスの缶スプレーのシルバーを吹いた後、白色と銀色はグリーンマックスの鉄道スプレーを、メタリックグレーはクレオスの黒鉄色の上からクリアブルーを吹いています。細部の塗り分け・リタッチにはラッカー系・エナメル系・水性のアクリジョンカラーを使い分けました。タミヤのスマ入れ塗料でスマ入れし、付属のミラーージュマークと機番デカールを貼付した後クレオスの光沢クリアーで全身をコートしました。



前面



後面

4. 製作過程



2003年頃の状態。EDキットの胴体部品にプラキットの四肢を取り付けて立たせたところ。当初はこのような構成を考えていました。



2005年頃の状態。向かって左がEDキット付属のメタル製実剣、向かって右がアクションフィギュアの実剣にEDキットの鞘を仮止めしたもの。



2007年頃の状態。本体のほとんどのパーツの位置が確定。後爪はKOGのプラキットから流用しました。



2011年頃の状態。取付部を自作してアクションフィギュアから流用したペイルを左腕に付けてみたものの、ペイルの自重で傾くことが判明。